

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心が高く、心身ともに健康な地域住民を増加させる。		
	事業名	チャレンジ健康づくり	決算額	204,286円
②	視点	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛意を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	事業名	明治維新150年記念事業 (特別加算地域づくり交付金事業)	決算額	627,185円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	172,020円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①今年度も、社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。 参加者目標50人に対し、過去最多となる61人の参加あり、8人が途中離脱したものの、最終的に53人が完走した。 今後についても、白石地区全体の地域課題としては特に中年層(40～60歳)の運動不足が課題となっており「すっきりボディー」「活動量計」をキーワードに中年層をターゲットとした事業を展開する。	○
②講演会・維新探訪バスツアー・広報誌へのコラム掲載・幕末維新史跡マップの作製、全戸配布を実施し、明治維新策源地山口市において活躍した人物、史跡等を詳細に周知することができたことから、地域住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。 今後については、講演会開催や広報誌へのコラム掲載に加えて、幕末維新史跡マップを活用した探訪ウォーキングを企画する。	○
③【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。 【山口セタちようちんまつり】 一の坂川沿いにちようちんツリー43本にちようちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたるの広場周辺のちようちんツリー8本には、保護者や子供たち245名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。なお、本年は荒天のため8月6日のみ1日だけの開催となった。 今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加していただけるような、より楽しい企画を検討し、実施する。	○

4 総括

交付金の活用によって、実行委員会を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,651,618円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 適宜、会計管理システムの見直し(バージョンアップ)を行い、当該取扱マニュアル書を作成したことにより、会計業務の適正かつ迅速な会計業務を確立した。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	218,700円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会運営等参加者を増やす。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 101人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が82%となり、昨年(77.8%)と比較して4.2%増加した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のための事業を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会等の開催を企画する。</p>

事業名	広報事業
事業費	1,153,980円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 3人</p> <p>(成果) 広報誌全戸配布12回、ウェブサイト更新13回。</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行し、HPを適宜更新するなど、各事業の開催案内・結果報告等、周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新を行うとともに、新たにSNSの活用および広報委員会創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	368,060円
事業概要	<p>(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。 今年度はJR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動、駅舎内待合室でのコンサートや日本舞踊等の演舞を開催した。 また、官民一体となった「デスティネーションキャンペーン」を13回実施した。</p> <p>(実施時期) 平成29年5月、6月、8月、10月、11月、12月、平成30年3月</p> <p>(参加人数) 約80～100人(1開催当り)</p> <p>(成果) D. Cイベント等において、多数の地域住民の協力で盛大なイベントとなり、県内外からの多くのSL利用者等に対する、おもてなし活動ができた。</p> <p>(評価) 地域住民同士のコミュニケーションの場となった。SL到着までの時間を利用して、駅待合室において、地域で活動している舞踊団体等が舞踊等を披露するなど、地域で活動する団体等の成果を発表する場となると共に、山口市の玄関口であるJR山口駅を盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 環境美化活動、観光ボランティア、駅舎内コンサート等を継続して行いたい。 また、「明治維新150年記念キャンペーン」では、10月・11月・12月に昭和初期レトロ衣装を着用してSLやまぐち号おもてなしイベントを5回程度行と共に、新たに、参加者向けにミニカフェやフリーマーケットを開催し、地域住民等参加者同士のコミュニケーションの場とする。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。</p> <p>(実施時期) 平成29年11月19日</p> <p>(参加人数) 約3,000人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介、及び地域団体の連携強化が図られた。 また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。小・中学生や大学生もスタッフとして参加され、子どもや学生が地域社会とふれあう機会となった。</p> <p>(評価) 今年は非常に気温が低かったため、参加者減が心配されたが、運営スタッフの頑張りにより、例年通りの人出となり、提供物品も完売の盛況ぶりであった。 実行委員会を中心に会議を重ね、より良いフェスティバルとするよう取り組んだ。餅まきでは、餅と一緒に袋菓子をまき、子どもがさらに喜ぶよう工夫した。 また、昨年に引き続き、荒高・西門前自主防災ブースを設置し、防災意識を高める場とすることもできた。防災ブース近くには、子どもが無料で遊べるジャグリング体験ブースも準備し、子どもたちにも、楽しみながら防災を学んでもらうことができた。 中学生ボランティアスタッフも、ゴミ箱管理などを担当し、活躍してくれた。その成果もあり、例年に比べ、ゴミの分別が行き届いており、片付けをスムーズに進めることが出来た。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も開催日時を西門前商店街・道場前商店街のえびす祭りにあわせて開催(11/18)し、お互いの祭りの相乗効果が出るよう工夫して行きたい。 地域住民に加え、地域内の学校にもステージ出演やブース出店について提案し、白石の一大イベントとして、地域全体での大きな取り組みとして行きたい。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石中学校グラウンド</p> <p>(実施時期) 平成29年5月21日</p> <p>(参加人数) 1,500人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。</p> <p>(評価) 既存競技をアレンジするなどして、わかりやすく誰もが楽しめるプログラムとなるよう改善を試みた結果、昨年度を上回る参加者があり、大いに盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 競技種目、町内対抗に参加できない地区住民の参加方法等について検討し、20町内会参加に向けて取り組む。※引き続きブロック制参加も検討する。</p>

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	154,400円
事業概要	<p>(実施内容) ①荒高もりさま祭り②福部童子祭③西惣小さな夏まつり④今道大附6町内フェスティバル開催。⑤ヴェルデ白石納涼夏祭り⑥中清水三世代交流会</p> <p>(実施時期) 平成29年7月、8月、9月</p> <p>(参加人数) 約2,000人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまでの世代交流ができた。 参加団体は6団体(11町内会)となった。</p> <p>(評価) 準備等を通して、町内会役員間の結束を高めることができた。 各町内会とも、多数の参加があり、目標参加者数を上回った</p> <p>(今後に向けて) 子どもとその親、お年寄り以外の若者層にも参加してもらえるよう、イベントや出店内容等、工夫したい。 周知に努めて、参加団体の増加を図るとともに、広報活動を進めて、各祭りの参加者の増加を図りたい。 世帯数が少なく、高齢化が進んでいる単位町内会については近隣町内会との合同開催を検討する。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	172,020円
事業概要	<p>(実施内容) 【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。 【山口七夕ちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー43本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち245名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。なお、本年は荒天のため8月6日のみ1日だけの開催となった。</p> <p>(実施時期) 平成29年6月3日、7月20日・27日、8月6日</p> <p>(参加人数) 528人</p> <p>(成果) 【ほたるまつり】 参加者41人。多数の来場者(約400人)に利用していただき大好評であった。 【祇園祭】 参加者193人(御神輿担ぎ手116人、直会77人) 【山口七夕ちょうちんまつり】 参加者294人(ちょうちんツリー49人、願事短冊245人)</p> <p>(評価) 昨年と比較して参加者が69人増加した。</p> <p>(今後に向けて) 地縁者の参加者が少なく、参加意欲の高揚が図れなかった。引き続き、町内会連合会を通じて、単位町内会長に参加要請を強化する。 また、より多くの地域住民(とりわけ、子育て世代と子どもたち)が参加していただけるような楽しい企画を検討し、実施する。</p>

(3) 地域福祉

事業名	人権啓発活動推進
事業費	108,000円
事業概要	<p>(実施内容) 健常者から障がい者になった腰塚勇人氏を講師に迎え、白石中学校全校生徒、地域住民を対象に「命の大切さ」や「命の喜ぶ生き方」をテーマに人権学習講演会を開催。</p> <p>(実施時期) 平成30年2月3日</p> <p>(参加人数) 約500人</p> <p>(成果) 広報活動を積極的に実施した結果、白石中学校の全校生徒に加え、多くの地域住民が参加し、人権の啓発が図られた。</p> <p>(評価) 前年度と比較して参加者が500人と昨年と比較して倍増し、人権意識の高揚が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 参加呼びかけ等、事前の広報活動等積極的に展開し、地域住民の参加を働きかけ参加者増を図る。</p>

事業名	ノルディックウォーキング講習会
事業費	23,500円
事業概要	<p>(実施内容) ノルディックウォーキングの普及やウォーキングマップしらいしの活用を推進するため専門の講師を招きノルディックウォーキングの講習会やまち歩きを実施した。また、市が展開しているチャレンジデーに地区としての協賛事業を兼ねた。</p> <p>(実施時期) 平成29年5月31日</p> <p>(参加人数) 29人</p> <p>(成果) 初心者等が気軽に歩ける距離としたことから、リピーターだけではなく、新たに参加した方もおられた。</p> <p>(評価) 参加者数は目標未達であったが、昨年と比較して6人増加した。また、ノルディックウォーキングの周知には貢献した。</p> <p>(今後に向けて) 地域交流センターの定期利用団体等に対しても参加を呼びかけると共に、単位町内会において体育委員等を通じて周知や募集に協力いただく仕組みを構築する。</p>

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	204,286円
事業概要	<p>(実施内容) 参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月一回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を自覚してもらう事業を展開する。</p> <p>(実施時期) 平成29年7月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 53人</p> <p>(成果) 参加者目標50人に対し、61人参加(過去最多)でスタートし、8人が途中棄権したものの、最終的に53人が修了した。</p> <p>(評価) 今年で3年目となる本事業は、活動量計をツールとして地域住民の健康意識は年々高まりつつある。(健康づくりを通して仲間づくりが促進されている)</p> <p>(今後に向けて) 次年度は5カ月ご設定し、短期集中型の活動日程とし、出席者を増やす。</p> <p>開講式当日に、シューフィッターによる足の計測や診断を行い活動開始の期待感を醸成する。</p> <p>プログラム受講に際し、各自の希望に沿ったプログラムを自由に選択できることを事前に告知する。</p> <p>卒業生の受け皿(活動継続の支援)として、新たに同好会を立ち上げる。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	59,408円
事業概要	<p>(実施内容) 家族がよろこぶカルシウム料理教室、男性料理教室の開催、「チャレンジ健康づくり」の講座参加者を対象に、健康食の料理教室開催と試食(60食)の提供。減塩食レシピを広報誌へ4回掲載する。</p> <p>(実施時期) 平成29年4月、6月、9月、10月、11月、平成30年1月</p> <p>(参加人数) 40人</p> <p>(成果) 今年度は、新たに「チャレンジ健康づくり」の参加者を対象に、健康食の料理教室の開催と試食(60食)の提供を行い、健康食に対する意識の高揚を図ることができた。</p> <p>(評価) 料理教室開催、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理を提案し、地区住民の健康増進に役立つことができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、減塩料理だけではなく、生涯骨太を目指したカルシウムクッキングに力を入れたい。 広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、健康に役立つ料理を提案したい。 料理教室の参加者を増加させるため、周知に努める。 また、子育て世代の方にも安心して料理教室に参加して頂けるよう、来年度も託児所を開設する。 より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と共同で、料理教室の開催を検討したい。</p>

事業名	グランドゴルフ大会開催事業
事業費	19,000円
事業概要	<p>(実施内容) グランドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 平成29年10月9日(祝)</p> <p>(参加人数) 18人</p> <p>(成果) 昨年度は春季1回の開催であったが、今年度は秋季大会を新設したが、春季大会は荒天のため中止になった。 準備、運営はグラウンドゴルフ協会の白石担当等が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 大会を通じて、初心者の方も広報誌を見て参加されるなど、グラウンドゴルフに対する興味が高まりつつある。</p> <p>(今後に向けて) グラウンドゴルフを、地区の推奨するスポーツとして、地域をあげて啓発を図る必要があることから、今般(12月1日)、「グラウンドゴルフしらいし実行委員会(16人)」が立ち上がり、亀山ふれあい公園において定例練習会(毎週水曜日)を開催することになった。</p>

事業名	むかし遊び
事業費	4,322円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施する</p> <p>(実施時期) 12月12日(火)</p> <p>(参加人数) 34人</p> <p>(成果) 今年度は34名の参加者があり昨年度と比較して7名増加した。高齢者と1年生との楽しく充実した時間が持てた。</p> <p>(評価) 今年は地域福祉部会の新規事業として立ち上げた。実行委員長が中心となって参加者を募集し、部会員の協力も得られた。今年初めてケーブルテレビの取材があり、放映により周知が広がった。</p> <p>(今後に向けて) 昨年同様。町内会を通して参加者の募集を行ったが、ほとんど成果が得られなかったため、募集方法に改善が必要と考える。民生委員、福祉委員等支援団体に協力要請する。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	(実施内容) ー (実施時期) ー (参加人数) ー (成果) ー (評価) ー (今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実して行きたい。

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	82,400円
事業概要	(実施内容) 龍王町内会にアドバンスミラーを1基設置、1基修復した。 (実施時期) 平成29年7月、8月 (参加人数) ー (成果) 龍王町内会会長の依頼により反射鏡の設置および修復を補助した。 (評価) 見通しの悪い交差点にアドバンスミラーが設置されたことにより、地区内の児童・生徒をはじめとする住民の交通の安全を守ることに貢献できた。 (今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をして行く。

事業名	自主防災モデル事業
事業費	275,638円
事業概要	(実施内容) 自主防災勉強会、防災イベント(交流センター共催)等開催。 上清水・中讃井・荒高町内会、西門前・新橋町内会が合同で発災実働訓練を実施。 山口県自主防災アドバイザー養成研修を受講、資格試験受験、防災士資格取得。 (実施時期) 平成29年9月～平成30年1月 (参加人数) 発災実働訓練参加者 約430世帯 (成果) 今年度新たに6名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は17名となった。 平成30年2月11日(日)に、上清水、中讃井、西門前、新橋、荒高町内会で合同の発災実働訓練を行ったことで、防災意識がさらに高まり災害への備えとなった。この発災実働訓練には、たいへん多くの地区住民(430世帯)が参加された。安否確認のための目印として、「黄色のタスキ(旗)」を全戸に配布したことにより、住民同士の連帯感が深まり、防災意識の醸成の一助となった。 (評価) 防災訓練を行う中で住民同士の連帯感が生まれた。 (今後に向けて) 新たに上清水、中讃井町内会を自主防災組織モデル地区としての立ち上げを支援し、自主防災モデル事業の取り組み拡大を目指す。

事業名	夏休み防災訓練キャンプ
事業費	59,963円
事業概要	<p>(実施内容) 消防分団が講師となつての水消火器による消火訓練。着衣水泳体験(赤十字山口県支部講師による指導)。体育館での宿泊体験(寝床づくり、ラジオ体操、負傷者救出訓練など)。給水車による給水(上下水道局)、火起こし体験、非常食体験。</p> <p>(実施時期) 平成29年7月29日、30日</p> <p>(参加人数) 29名(児童数)</p> <p>(成果) 参加者が昨年と比較して10人増加した。</p> <p>(評価) 今回で4回目の開催であり、全般的に問題なくできた。また、今回は新たに災害時要援護者体験や担架訓練を行い、子供たちの防災意識の向上を図ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 防災に関する学習内容をさらに深化する。また、6年生に加え5年生も対象とすることや附属山口小学校との共催を検討する。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	59,271円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。指導旗を一新(購入)。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 31人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) 事件事故の被害はなかったが、高齢化により参加人員が減少した。</p> <p>(今後に向けて) ボランティアが高齢化しているところ、世代交代を図る必要があることから、誰でも気軽に参加できるような仕組みを創り、参加人員の拡大を目指す。</p>

(5)環境づくり

事業名	五十鈴川を守る会
事業費	71,107円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川河川の美化作業(草刈等) 河川長 約1,000m</p> <p>(実施時期) 平成29年9月3日(日)</p> <p>(参加人数) 193名</p> <p>(成果) 事前の準備が周到でタイムスケジュール等計画のとおり、ほぼ予定通り実施された。また、参加者同士の交流が図れた。</p> <p>(評価) 新たに白石中学校の生徒等が参加したこと等から昨年と比較して参加者が69名大幅に増加した。 昨年は未清掃の箇所があったが、本年は全域で雑草が一掃された。</p> <p>(今後に向けて) 白石地区全体の事業とすべく、近隣町内会はもとより町内会連合会を通じて参加者を募集する。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	お宝写真展
事業費	58,320円
事業概要	<p>(実施内容) 白石の自慢できる風景の写真を募集し、大いちょうバザール・白石フェスティバルにて写真展を開催した。</p> <p>(実施時期) 平成29年7月～11月</p> <p>(参加人数) 20人</p> <p>(成果) 昨年に引き続き、大いちょうバザールや白石フェスティバルにおいて写真展を開催した。</p> <p>(評価) 今年は新たな試みとして、メールによる募集を実施したが、出品者数が増加しなかった。</p> <p>(今後に向けて) スマートフォンで撮影した写真の出品を呼びかける。また、早期の写真展開催の周知及び積極的な出品協力依頼を各団体に行う。</p>
事業名	明治維新150周年記念事業
事業費	627,185円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会・バスツアー開催、広報誌およびHPにコラム掲載、幕末維新史跡マップ</p> <p>(実施時期) 平成29年4月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 340人(延べ人数)</p> <p>(成果) 講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載、幕末維新史跡マップ作製により幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。</p> <p>(評価) 講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載は好評であった。とりわけ、幕末維新史跡マップの作製を行い、全戸配布することにより、本事業の足跡を残すことができた。</p> <p>(今後に向けて) 本年度で特別交付金事業は終了するが、来年度についても、講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、新たに、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングを実施する。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。